



地域デビューでまちづくり.....

FRONTIER

市民活動にどう取り組みますか？

—— 伊澤新市長に聞く ——



6月23日 市民活動について市長にお話を伺いました。

—市民活動やボランティア活動の経験は
平成元年から始めた太極拳を子供たち

に教えていたこと、自治会や地域の役員として、草刈りや清掃活動、各種の行事などにかかわってきたことです。

—市民活動に市長が期待することは

行政に対する市民のいろいろなニーズに対応するには、行政だけでなく市民の力が必要です。元気で活躍できる市民の方々や、ボランティアの力を、協働という形で活かしてほしいものです。

3・11の災害時は身体の不自由な方々の支援と安否確認が一番気になりました。それにはご近所の力、みんなで助け合う必要があると思いました。

今回、防災意識がかなり高まり、市民の安全安心を政策の第一に置かなくてはならないと感じました。現在、高齢者の見守り、子どもの通学の安全、防犯などについての地域力が高まりつつあります。

—高齢化に向けての市の取り組みは

まず介護状態にならない予防に力を入れていきます。軽スポーツ（梨トレ体操など）を普及させ健康寿命を長くしていきたいと思います。

高齢者にあった医療、福祉、介護が受けられる環境づくりも進めていきます。新たに作る「いきいき夢手帳」（介護予防手帳）の活用も考えています。

—高齢者社会での市民活動のあり方は

高齢化が進んでいますが、能力もあり、経験、知識の豊富な人も多い、そんな方たちがご近所で助け合うことが望ましいと思います。例えば中高層の建物でエレベーターがない所もあり、買い物などの支援に力を貸していただきたい。今助け合いができている所を参考に、ご近所の力を活かしていけたらと思います。

—「市民と築く安心で健康なまち しろい」

第4次総合計画基本構想の後期基本計画で、まず取り組みたい問題は

市民の安全安心対策です。3・11を教訓として小中学校の耐震化や、災害対策本部が設けられるような市庁舎改修をしていきたいです。災害弱者と言われる人々の支援、見守り体制も含めやっていきたいと思っています。

—市民との協働の大切さについてのお考えを

これからは市がやるべきことと、市民がやったほうがいいことがあります。お互いに話し合い、協働しあっていきたいものです。市民にも責務があり、市も支援していく、お互いに認め合ってまちづくりをしていくことが大切です。みんなでいいまちを作りたいですね。住んでみたい、住み続けたいまちにしていきたいです。

—ありがとうございました

インタビュー
加藤 恵 泉
迫 田 妙 子





アニマルフレンド

白井市に避難を余儀なくされたペットたち

今回の大災害で、飼われていたペットたちはどう扱われていたのでしょうか。特に原発で強制避難地域に住んでおられた方々の急な避難で、かなりの動物が置きざりにされ、多くの動物愛護団体が保護活動をしているとはいえ、悲惨な状況にあると聞きます。テレビでは、牛の群れが砂浜をさまよっている様子などが映されておりました。

白井市にも、知人を頼って福島から、ペットと共に避難されて来られた方々がおります。ご多聞に漏れず、白井市の避難所でもペットと一緒に生活はできず、避難してきた車内や外の畑のビニールハウスで飼育する生活を余儀なくされていました。避難されて来られた方々とは直接お話しはできませんでしたが、ペットは、ハスキー犬親子、パグ犬、マルチーズ、猫一匹でした。

アニマルフレンドでは、知らない街での避難所生活をされている間だけでもと、ペットの餌の差し入れをしました。

現在、それぞれのペットは、大きく環境が変わったとはいえ、飼い主と一緒に幸せに暮らしています。



Girl's power unite! みんなのチカラひとつに!

ガールスカウト千葉県第63団



ガールスカウト千葉県第63団では、自分たちにできることを考えて行動しようと、小学生から高校生までのスカウトたちが、4月11日のフライアップ式を終えてから、白井駅付近で被災地支援のための募金を呼びかけました。たくさんの方々が募金に協力してくださり、およそ6万円の募金を日本赤十字社に送ることができました。

また、5月22日には全国のガールスカウトの一斉活動があり、千葉県全域でガールスカウトが支援のためのチャリティー活動に取り組みました。私たちも所属する北総地区の仲間と一緒に、支援活動のワークショップをした後に、松戸駅前で募金活動をしました。

ガールスカウト日本連盟では、「ガールスカウト東日本大震災被災者支援プロジェクト」をスタートさせて、全国のガールスカウトが様々な活動を通してこのプロジェクトに取り組んでいます。また、世界中のガールスカウトから、日本の被災者の皆さんへの応援のメッセージが寄せられています。私たちは「Girl's power unite! みんなのチカラひとつに!」というメッセージを掲げて、これからも被災地支援のために活動を続けていきます。



白井市市民活動推進センター運営協議会からのお知らせ

	22年度	21年度	増減
利用団体	2,902 団体	2,767 団体	増 135 団体(4.9%)
利用者数	6,464 人	6,056 人	増 408 人(6.7%)

平成22年度市民活動推進センターの利用状況は、左表のとおりで、21年度に比べ 利用者数で約6.7%増となりました。

3月11日の震災後は、夜間閉館などのご不便をおかけしました。皆様のご理解とご協力に、深く感謝申し上げます。



ボランティア団体が活動しています

しろい・なし坊隊

「屋台村」で炊き出し 一名取市一

東日本大震災の被災者を直接支援しようと、白井市民ほか22名の有志が「しろい・なし坊隊」を結成して、4月30日から2日間、宮城県名取市の避難所で炊き出しを行いました。

訪れた名取市立名取第二中学校と同市立高館小学校では、それぞれ被災者約130人が生活をしていました。炊き出しは「屋台村」と名づけ、昼食に焼きそば、豚汁、スイカを提供し、その後夕方まで、今川焼き、たこ焼き、焼きとり、ばくだん(米焼き菓子)、そして餅つきを被災者と一緒に行いました。

はじめはお互いに緊張気味でしたが、時間とともに明るく楽しい炊き出しになりました。

同隊の中村教彰隊長は「支援活動に協力していただいた皆様に、御礼を申し上げます。また、継続して支援ができれば」と話しています。



高齢者等の日常生活を支援・有償ボランティア

NPO法人コロポしろい

本年度から地域の自治会との共同事業として、手助けが必要となりつつある高齢者等を対象に、日常生活を支援する「地域でたすけあう活動」を開始しました。高齢者等には、地域の中で温かく見守られながら住み慣れた我が家で日常生活を営んで貰うことが重要です。このため、支援するボランティア(サポータ)も地域の中で募り、サポータが高齢者宅を訪問し希望する支援サービス活動に当たります。

提供するサービスとしては、炊事、洗濯、掃除、通院等の付添、話し相手、買物代行などです。また、介護保健法による在宅支援サービスの対象とならない本人以外の食事、支給限度額を超え実費負担が重荷になっている方々にも対応します。サービスの提供は、気兼ねなく気楽に頼みやすくするため有償(30分300円)としました。

本活動は、自治会に“地域でたすけあう”と云う機能(共助)を担い、介護福祉行政(公助)を補完する新しい協働活動のスタイルと言えます。

問合せ 細川 TEL 498-4031



新登録団体のご紹介



産業カウンセラー 北総チーム

平成23年6月に発足しました。産業カウンセラーの仲間達による勉強会を通じて、心の健康の維持増進や生涯キャリアについて、地域の皆さんと一緒に考え、社会生活の充実に努めていこうと計画中です。

問合せ 上坂
携帯 090-6183-1497
FAX 491-1466

話し方・朗読 “絆の会”

コミュニケーションの必要な時代
“貴方を生かす話し方”

“心が伝わる話し方”

その為には、“声は心の鏡”と言われるように、笑顔をもって、明るい声で話す必要があります。基礎的な発声・口の運動・滑舌の練習・フリートーキング。応用編では、朗読・ドラマ・司会等を練習、勉強しています。誰でも透明感のある、よく通る声で、スピーチして自分をアピールしてみましょう!

問合せ 大橋 TEL 492-0388

SINCS

白井自然と芸術文化の会

オーケストラ・混声合唱団・ピアニスト・声楽家・バレエ等の芸術文化団体(個人)+環境保護団体が、仲良く異ジャンル交流を図りつつ、チャリティ・コンサートを開催(⇒次回12/17(土)文化会館大ホール)収益金を白井市内の文化事業・環境保護活動の為に寄付する活動を実施。

★皆様、どうぞ、ご来場下さい★
問合せ 平田 TEL 497-2841



掲 示 板

「NPO法人しろい環境塾」

写真パネル展《里山の生きもの復活作戦》

活動経過やその意義について、写真200枚をパネル展示し、生物多様性を守る必要性を多くの市民に知っていただきたいと思ひます。

8月14日(日)～8月21日(日) 小室駅

8月21日(日)～9月4日(日) 千葉NT中央駅

9月4日(日)～9月18日(日) 西白井複合センター

西白井駅、白井駅は終了しています。

問合せ：上西 TEL 491-0660

「白井子ども劇場活動」

アカペラグループ「OMU☆CHA」公演会

くすっと笑えるオリジナルソングと誰もが口ずさめる曲のハーモニーで幼児から大人まで楽しめます。

日 時：9月4日(日)

場 所：白井市文化会館 中ホール

1 ステージ 15:30～ 幼児～小学生低学年対象

2 ステージ 18:00～ 小学生高学年～大人対象

鑑賞チケット代：4才以上1人1,000円

1・2ステージ両方とも鑑賞の方は割引があります

問合せ：事務所 TEL/FAX 491-2163

常駐ではありませんので必ずメッセージを入れてください。折り返し連絡いたします。

ふれあいカフェテラス「おあしす」

日 時：8月26日(金) 11:00～13:00

原則毎月第4金曜日開催

(9月23日は祭日のため30日に開催)

場 所：白井駅前センター

参加費：無料

小さなお子さんから高齢者まで世代間を越えたふれあいで。手作りケーキ(1ヶ¥100)とお茶(コーヒー・紅茶・麦茶)で交流の輪を広げませんか！

問合せ：入江 TEL/FAX 492-2070

「NPO法人谷田武西の原っぱと森の会」

在来の植物を守り増やすために、外来の植物を手で抜き取る作業に参加してみませんか

日 時：9月23日(金) 9:00～11:30

場 所：福祉センター(清戸)

参加費：無料

問合せ：齋藤 TEL 491-8357

蛭研究家 大場信義先生の講演会

日 時：10月1日(土) 会場未定

13:00～16:00 終了予定

場 所：福祉センター(清戸)

蛭研究家・大場先生のお話を伺い、湿地環境の整備について考えます。当日資料代が必要になります。

問合せ：矢野 携帯 080-5087-7235

「白井の自然を考える会」 秋の炭焼き体験会

恒例の炭焼き(竹炭、鑑賞炭)をします。

汚れてもよい服装で、ふるってご参加ください。

日 時：10月15日(土) 9:30 小雨決行(雨天は翌日)

場 所：白井運動公園隣、現地集合

持 物：軍手、お持ち帰りの鑑賞炭をいれる袋

あればスコップ、ご自分のゴミ袋など

参加費：1人800円(保険代、弁当、炭代)

竹炭は、翌日カマ開け後のお持ち帰りになります

申込み：要予約 山口 TEL 491-9291

準備の段階から参加して下さる方、連絡をしてください。

炭焼きのイロハの全体を見ることができます。また、炭材は用意しますが、ご自分で炭にしてみたい松ボックリ栗のイガなどと、それらを焼くふたのある空き缶などを、お持ちくださっても結構です。

編集後記

「フロンティア」は、前身の「市民活動ニュース」以来、31号目になった。3年前には、やっと白井市全戸配布までにこぎ着けた。が、情報の伝達には様々な方法があり、現在の方法は費用と労力の絡みで、続けていくのは、なかなか難しい状況となっている。しかし、継続して発信し続けることが大切。徐々に認知され、読者を増やす魅力のある広報紙をめざし、これからも頑張らなくてはと思う。(吉田)

FRONTIER

白井市市民活動推進センター

白井市堀込1-2-2 (白井駅前センター内)

Phone : 047-498-0705

E-mail : info@shiroi-sk.org URL : http://shiroi-sk.org